

別表第1 人間科学科目履修課程表（各学科共通）

1. (1) 人間科学基礎科目

区分	系	授業科目	単位		授業時数								備考	
			必修	選択必修	1年次		2年次		3年次		4年次			
					前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
人間科学基礎科目	人文社会科学系	哲学 I		2	(2)		(2)							G
		哲学 II		2		(2)		(2)						
		倫理学 I		2	(2)		(2)							
		倫理学 II		2		(2)		(2)						
		歴史学 I		2	(2)		(2)							
		歴史学 II		2		(2)		(2)						
		文学 I		2	(2)		(2)							
		文学 II		2		(2)		(2)						
		心理学 I		2	(2)		(2)							
		心理学 II		2		(2)		(2)						
		教育学 I		2	(2)		(2)							
		教育学 II		2		(2)		(2)						
		法学 I		2	(2)		(2)							
		法学 II		2		(2)		(2)						
		日本国憲法		2	(2)	(2)	(2)	(2)						
		社会学 I		2	(2)		(2)							
		社会学 II		2		(2)		(2)						
		経済学 I		2	(2)		(2)							
		経済学 II		2		(2)		(2)						
		政治学 I		2	(2)		(2)							
	政治学 II		2		(2)		(2)							
	地域研究 I		2	(2)		(2)								
	地域研究 II		2		(2)		(2)							
	経営学 I		2	(2)		(2)								
	経営学 II		2		(2)		(2)							
	国際関係論		2	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)					
	グローバルイシュー概論		2	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)				
	東アジア論		2	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)				
	職業と社会		2					(2)						
	日本語表現法		2					(2)						
	外国語系	英語	英語 A I	1		2								S S
			英語 A II	1			2							
			英語 B I	1		2								
			英語 B II	1			2							
			英語 C I	1				2						
		初修外国語	ドイツ語 I		1		2							S S
ドイツ語 II				1			2							
中国語 I				1		2								
中国語 II				1			2							
フランス語 I				1		2								
フランス語 II				1			2							
韓国語 I				1		2								
選択外国語		英語 D I		1				2					S S	
		英語 D II		1					2					
		ドイツ語 III		1				2						
		ドイツ語 IV		1					2					
	中国語 III		1				2							
	中国語 IV		1					2						
保健体育系	スポーツ運動学実技 A	1			2									
	スポーツ運動学実技 B	1				2								

(卒業要件)

- (1) 人文社会系は、選択必修科目から10単位を修得しなければならない。
また、2年次後期に開講される「日本語表現法」「職業と社会」については、これら以外の科目を6単位以上修得した上で履修しなければならない。
- (2) 外国語系は、英語を6単位修得するとともに、初修外国語として、ドイツ語Ⅰ／Ⅱ、中国語Ⅰ／Ⅱ、フランス語Ⅰ／Ⅱ、韓国語Ⅰ／Ⅱのいずれかを2単位修得しなければならない。
上記に加え、選択語学として、英語DⅠ/DⅡ、ドイツ語Ⅲ／Ⅳ、中国語Ⅲ／Ⅳ、フランス語Ⅲ／Ⅳ、韓国語Ⅲ／Ⅳの中から選択して2単位修得しなければならない。
2年次の選択語学において、英語以外を選択する者は、1年次と同一の言語を履修しなければならない。
- (3) 保健体育系は、スポーツ運動学実技Aとスポーツ運動学実技B 2単位を修得しなければならない。

1. (2) 副専門人間科学科目

系	授 業 科 目	単 位		授 業 時 数								備 考	
		選 択 必 修	選 択	1 年 次		2 年 次		3 年 次		4 年 次			
				前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期		
上 級 科 目	哲 学 と 現 代 Ⅰ		2			(2)		(2)		(2)			S
	哲 学 と 現 代 Ⅱ		2				(2)		(2)		(2)		S
	西 洋 社 会 史 Ⅰ		2			(2)		(2)		(2)			S、G
	西 洋 社 会 史 Ⅱ		2				(2)		(2)		(2)		S、G
	日 本 政 治 論 Ⅰ		2			(2)		(2)		(2)			S
	日 本 政 治 論 Ⅱ		2				(2)		(2)		(2)		S
	教 育 シ ス テ ム 論		2				(2)		(2)		(2)		S
	経 営 組 織 論		2			(2)		(2)		(2)			S
	サ ス テ イ ナ ビ リ テ ィ ー 論		2			(2)		(2)		(2)			G
	選 択 英 語 Ⅰ		1	(2)		(2)		(2)		(2)			
	選 択 英 語 Ⅱ		1		(2)		(2)		(2)		(2)		
	健 康 ス ポ ー ツ 科 学 論		2			(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	
	選 択 日 本 事 情 A		2			(2)		(2)		(2)			S
選 択 日 本 事 情 B		2				(2)		(2)		(2)		S	
人 間 科 学 総 合 科 目	リ レ ー セ ミ ナ ー		2			(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)		P、S

P印の授業科目は、PBL科目である。

S印の授業科目は、少人数科目である。

G印の授業科目は、グローバル科目である。

(備考)

- (1) 上級科目は適時開講を含む。
- (2) 人間科学総合科目は隔年もしくは適時開講とする。
- (3) 選択英語Ⅰ／Ⅱについては、適宜開講とし、学期内あるいは学期外に開講するものとする。
- (4) TOEFL-ITP (Level 1)、TOEIC等のスコアによる英語科目への単位認定については、次のとおりとする。
学則13条の2の規定中「その他文部科学大臣が別に定める学修」による、英語検定試験 (TOEFL-ITP (Level 1)、TOEFL iBT、TOEIC、英検等) による単位認定については、次のとおり取り扱うものとする。
1 単位認定を希望する学生は、「単位認定申請書」に過去2年以内のスコアを証明する書類及び取得時期が確認できる書類を添えて願出すること。

2 認定できる単位数は最大4単位までとし、認定の基準は下記のとおりとする。

認定基準				認定科目	単位数	評価
TOEFL ITP (level 1)	TOEFL iBT	TOEIC	英検	英語 A I / A II 英語 B I / B II 英語 C I / C II 英語 D I / D II	4 単位	秀
550	80	865	1 級			

3 上記以外の検定試験の場合、英語科目担当教員で単位認定の可否を判断する。

別表第2 工学系総合科目履修課程表（各学科共通）

区分	授業科目	単 位		授 業 時 数								備 考
		選 択 必 修	選 択	1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		
				前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	
工学系総合科目	工 学 と 環 境	2						(2)	(2)	(2)	(2)	*
	工学倫理・安全工学A	2						(2)	(2)	(2)	(2)	*
	工学倫理・安全工学B	2						(2)	(2)	(2)	(2)	*
	工学倫理・安全工学C	2						(2)	(2)	(2)	(2)	*
	経営管理・知的財産権		2					(2)	(2)			
	サイエンス工房		2					2				P
	キャリア形成入門		2			(2)		(2)				
	インターンシップ実習		1			(3)	(3)	(3)	(3)			
	グローバル教育実践実習		1									適時
	理数教育体験Ⅰ		1									
理数教育体験Ⅱ		1										
宇宙工学入門		2			2							

*印の授業科目のうち、1科目を修得しなければならない。

「工学倫理・安全工学B」は、応用化学科および総合システム工学科の学生のみを開講する。

「工学倫理・安全工学C」は、応用化学科および電気電子工学科の学生のみを開講する。

P印の授業科目は、PBL科目である。

別表第3 工学系他分野科目履修課程表（各学科共通）

区分	授業科目	単 位	授 業 時 数								備 考	
			選 択 必 修	1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		
				前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期		後 期
工学系他分野科目	機械知能工学概論	2					(2)	(2)	(2)	(2)	機械知能工学科の学生が履修した場合査定外とする。	
	建設社会工学概論	2					(2)	(2)	(2)	(2)	建設社会工学科の学生が履修した場合査定外とする。	
	電気電子工学概論	2					(2)	(2)	(2)	(2)	電気電子工学科の学生が履修した場合査定外とする。	
	応用化学概論	2					(2)	(2)	(2)	(2)	応用化学科の学生が履修した場合査定外とする。	
	マテリアル工学概論	2					(2)	(2)	(2)	(2)	マテリアル工学科の学生が履修した場合査定外とする。	
	総合システム工学概論	2					(2)	(2)	(2)	(2)	総合システム工学科の学生が履修した場合査定外とする。	
	生命体工学概論	2					(2)	(2)	(2)	(2)	全ての学科の学生を対象とする。	

別表第3に定める授業科目のうち、1科目を修得しなければならない。